

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CODメーター用試薬F液(洗浄液)

<製造元>

会社名 : 関東化学株式会社

住所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1

電話番号 : 0120-260-489

FAX番号 : (03)3241-1047

メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp

<販売元>

会社名 : セントラル科学株式会社

住所 : 〒1113-0033 東京都文京区本郷3-23-14 ショウエイビル

電話番号 : (03)3812-9186

FAX番号 : (03)3814-7538

整理番号 : 49200-63

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体 : 区分外

自然発火性液体 : 区分外

健康に対する有害性

急性毒性(経口) : 区分外

急性毒性(経皮) : 区分外

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2A

生殖毒性 : 区分外

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分外

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 区分外

環境に対する有害性

水生毒性(急性) : 区分外

水生毒性(慢性) : 区分外

絵表示またはシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 : 強い眼刺激

注意書き

- 安全対策 : 適切な保護手袋、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護マスクなどを着用する。
- 救急処置 : 眼に入った場合：流水で数分間洗い流す。医師の処置を受ける。
取り扱った後、手を洗う。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 : 単一製品
- 化学名又は一般名 : しゅう酸
- 成分及び含有量 : しゅう酸の約0.35%水溶液
- 化学特性（示性式） : HOOC:COOH
- 官報公示整理番号
- 化審法 : 2-1551
- 安衛法 : 公表
- CAS No. : 144-62-7
- 危険有害成分 : しゅう酸

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄し、コップ1-2杯の水または牛乳を飲ませる。直ちに医師の処置を受ける。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : しゅう酸は、皮膚に付着すると発赤、痛み、水疱、熱傷などを起こすことがある。眼に入ると粘膜を刺激して炎症を起こす。発赤、痛み、眼のかすみ、視力喪失、重度の熱傷などを起こすことがある。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
- 使ってはならない消火剤 : 特になし
- 特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 回収、中和 : 漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。
- 注意事項 : みだりに蒸気が発生しないように取扱う。

保管

- 適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
- 安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器または局所排気装置を使用する。

- 管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 (2009年度版)

- : 設定されていない

ACGIH (2009年度版)

- : 1mg/m3 (TLV-TWA)
- 2mg/m3 (TLV-STEL)

保護具

- 呼吸器用の保護具 : 必要に応じて防じんマスクを着用する
- 手の保護具 : 不浸透性保護手袋
- 眼の保護具 : ゴーグル型保護眼鏡

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 液体
- 色 : 無色
- 臭い : 無臭
- pH : 酸性
- 沸点 : 約100°C
- 融点 : 約0°C
- 密度 : 約1.0g/cm3

溶解性

- 溶媒に対する溶解性 : 水 ; 自由に混合
有機溶媒 ; エタノールに可溶

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常条件で安定である。
- 反応性 : 強酸化剤と接触すると、反応することがある。
- 避けるべき条件 : 日光、熱
- 混触危険物質 : 強酸化剤
- 危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11. 有害性情報

- 急性毒性 : 経口 : 区分外
経皮 : 区分外
吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない
吸入 (粉塵・ミスト) : データ不足のため分類できない (しゅう酸として)
ラット 経口 LD50=375mg/kg
ウサギ 経皮 LD0=20000mg/kg

- 皮膚腐食性・刺激性 : 区分外
皮膚に対して軽度の刺激性があるが、区分外とした。
- 眼に対する重篤な損傷・刺激性 : 眼に対して強い刺激性がある(区分2A)
ヒトで 眼にかなり重篤な火傷を生じるとの記載があり、区分2Aとした。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性：データ不足のため分類できない
皮膚感作性：データ不足のため分類できない
- 生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない
- 発がん性 : データ不足のため分類できない
- 生殖毒性 : 区分外
しゅう酸は親動物への影響が不明な条件下で、同腹仔数の減少が報告されていて、区分2に分類されているが、カットオフ値以下のため、区分外とした。
- 特定標的臓器・全身毒性－単回暴露 : 区分外
しゅう酸はヒトで、吸入による 気道腐食性、および肺水腫が指摘されているが、カットオフ値以下のため区分外とした。
- 特定標的臓器・全身毒性－反復暴露 : 区分外
しゅう酸はヒトで、尿路結石の増加が報告されているが、カットオフ値以下のため区分外とした。
- 吸引性呼吸器有害性 : データ不足のため分類できない
12. 環境影響情報
- 生態毒性
- 魚毒性 : 水生毒性（急性）：区分外
水生毒性（慢性）：区分外
(しゅう酸として)
甲殻類（オオミジンコ） EC50=15mg/L/48H
- 残留性／分解性 : 微生物などによる分解性が良好と判断される物質である。
- 生態蓄積性 : データなし
13. 廃棄上の注意
- 残余廃棄物 : 多量の水で希釈して、アルカリで中和した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。
- 容器 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。
14. 輸送上の注意
- 国内規制 適用法令なし
- 国連分類 : 分類基準に該当しない
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。
15. 適用法令
- 化学物質管理促進法 : 非該当
- 毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法 : 法第57条の2(令第18条2)名称等を通知すべき危険物及び有害物(政令第304号)

16. その他の情報

引用文献

有機化合物辞典、有機合成化学協会編、講談社(1985)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の見取り紙を対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。